National Police Agency

警察庁

警察庁事務官採用案内

2020

■採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03)3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車　徒歩1分　又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車　徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区 北二条西7丁目	(011)251-0110 内線6032	JR「札幌駅」下車　徒歩15分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区 本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟15階	(022)221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03)3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分　又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車　徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎 2号館22階	(048)600-6000 内線2636	JR京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸 2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052)951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「市役所駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区谷町 2丁目1番17号 大阪第二法務合同庁舎7階	(06)6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線「天満橋駅」下車 徒歩10分 又は 大阪メトロ谷町線、中央線「谷町四丁目駅」下車 徒歩10分
中国四国管区警察局 警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082)228-6411 内線2632	JR広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087)821-3111 内線2632	JR「高松駅」下車　徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園 7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092)622-5000 内線2632	JR「吉塚駅」下車　徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分

National Police Agency

警察庁

警察庁事務官採用案内

Recruiting guidebook

国家公務員採用一般職

（大卒程度・行政区分／高卒者・事務区分）

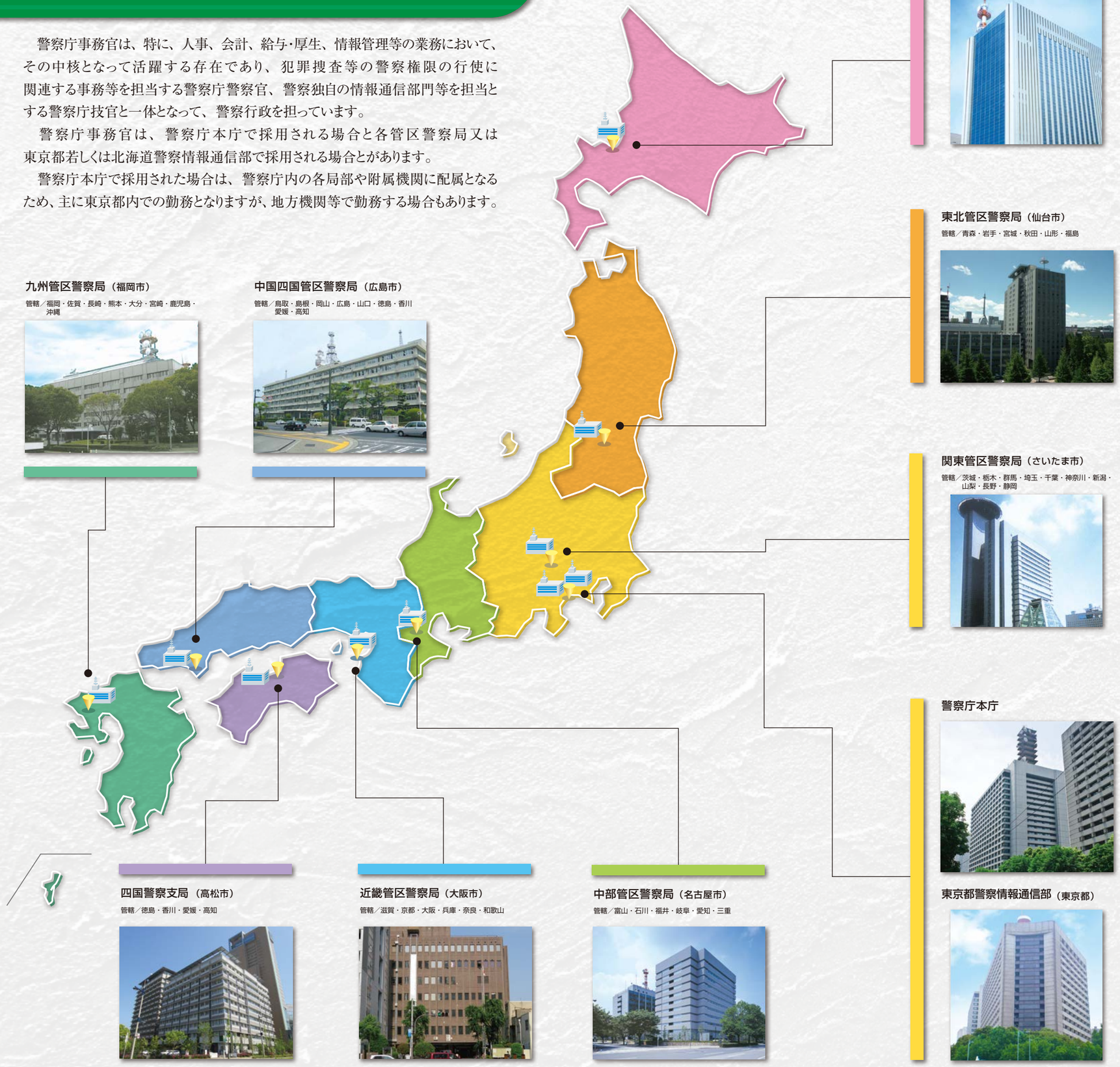
2020

警察庁事務官について

警察庁事務官は、特に、人事、会計、給与･厚生、情報管理等の業務において、その中核となって活躍する存在であり、犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する事務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当とする警察庁技官と一体となって、警察行政を担っています。

警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と各管区警察局又は東京都若しくは北海道警察情報通信部で採用される場合とがあります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。



北海道警察情報通信部（札幌市）

東北管区警察局（仙台市）

管轄／青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島

関東管区警察局（さいたま市）

管轄／茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・山梨・長野・静岡

警察庁本庁

東京都警察情報通信部（東京都）

九州管区警察局（福岡市）

管轄／福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

中国四国管区警察局（広島市）

管轄／鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知

四国警察支局（高松市）

管轄／徳島・香川・愛媛・高知

近畿管区警察局（大阪市）

管轄／滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山

中部管区警察局（名古屋市）

管轄／富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重

NATIONAL POLICE AGENCY

Contents

第1部 組織紹介

- 警察機構図 …… 4

第2部 警察庁本庁

- 活躍のフィールド …… 7
- 職員からのメッセージ …… 9
- 若手職員Q&A …… 10
- 職員の一日 …… 11

第3部 管区警察局

東京都･北海道警察情報通信部

- 活躍のフィールド …… 13
- 職員からのメッセージ …… 15
- 若手職員Q&A …… 16
- 職員の一日 …… 17

第4部 特集

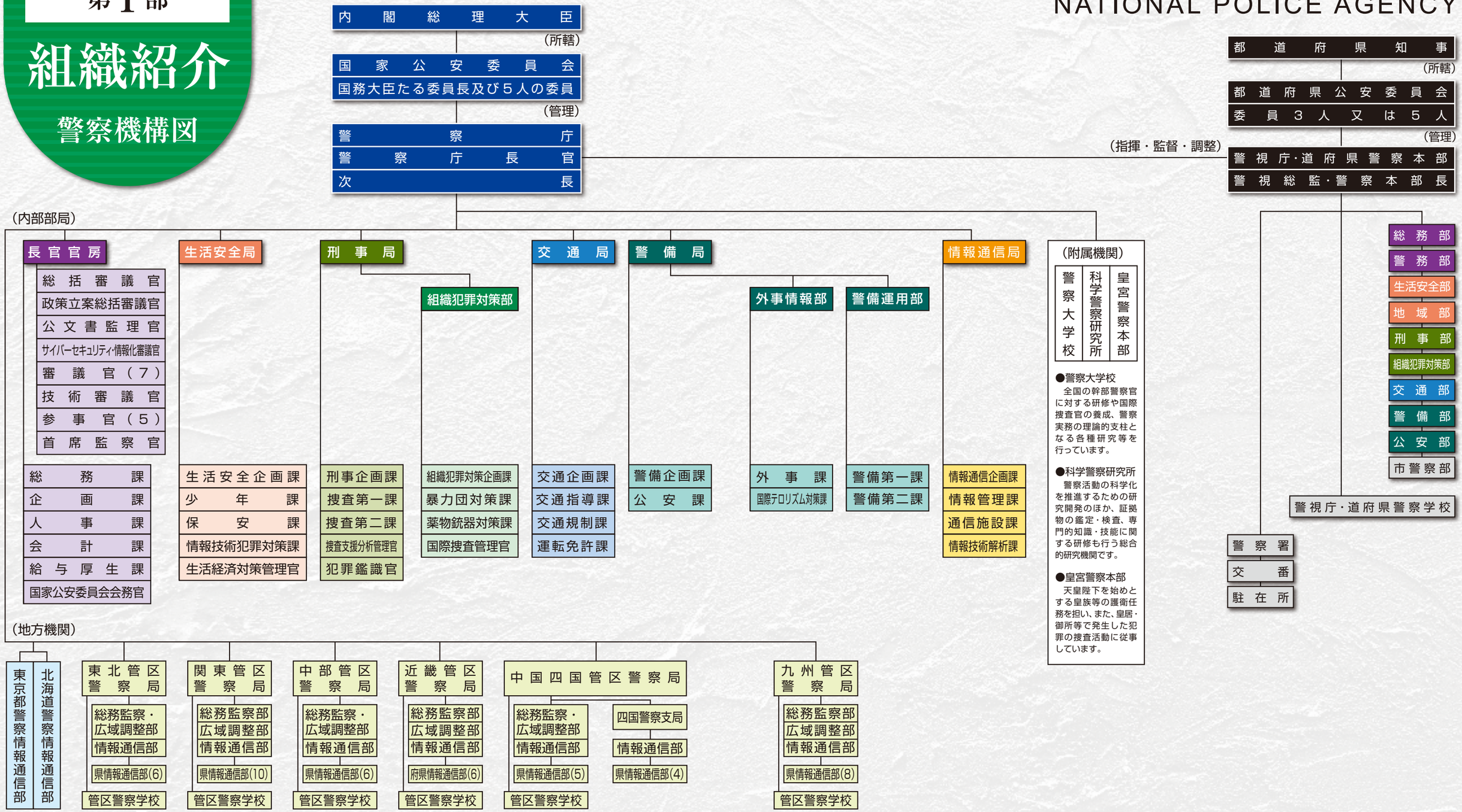
- ワークライフバランス …… 18
- 勤務地等についてのQ&A …… 19

第1部

組織紹介

警察機構図

NATIONAL POLICE AGENCY



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO（国際刑事警察機構）への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。

警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中枢機関であり、各種施策の立案、立法作業に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。

第一線の支えとして

犯罪鑑識官付　係員　平成22年入庁

犯罪鑑識官は、指掌紋、足痕跡、現場遺留物、写真、DNA型等から捜査を科学的、合理的に進めるなど、犯罪鑑識全般に関する業務を担当しています。

私が所属する通称「DNAセンター」では、都道府県警察から嘱託を受け、被疑者の口腔内細胞を基にDNA型鑑定を行い、データベースに登録する業務を行っています。その中で私は、鑑定嘱託書の受理、鑑定書の発送、被疑者データベースへの登録といった鑑定嘱託書等の管理業務を担当しています。

社会情勢の変化や司法制度の変革に伴い、捜査を取り巻く環境が大きく変容している中で、DNA型を始めとした客観証拠の重要性はますます高まっています。私自身犯罪現場に出動することはありませんが、都道府県警察担当者と電話で直接やり取りをすることもあり、「自分の仕事が第一線を支えている」と日々強く実感しながら勤務しています。また、DNA型が一致し、被疑者が検挙された等のニュースを目にすると、大きな達成感を感じることができます。

警察庁職員として、国民の安全安心のため、私達と一緒に日本の治安維持の一翼を担う仕事をしてみませんか。

やりがいと成長を感じながら

捜査第二課　係員　平成25年入庁

捜査第二課は、贈収賄事件や選挙違反事件、入札妨害・談合事件、金融関係犯罪のほか、特殊詐欺等の各種知能犯罪の捜査を担当しており、警察庁の捜査第二課では、都道府県警察が捜査を円滑に行えるよう指導、調整、情報の集積や提供等の業務を担っています。

その中で私は、全国で日々発生するオレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺の被害件数・金額、検挙状況等のデータの処理、資料の作成を行っています。ニュース等で皆さんも目にした事があるかと思いますが、被害や検挙に関する数値は、メディアを始めとした様々な場面で活用されるほか、今後の特殊詐欺対策の方向性を決めていく上でその詳細な分析が必要不可欠です。

また、こうしたデータについて都道府県警察の方々からの依頼や質疑に答える機会も多く、責任と緊張も大きいですが、業務を通じて新しい知識や経験を得ることができるので、日々仕事へのやりがいと自己の成長を感じています。

警察庁では、現場の警察活動と直結した業務も多く、その内容も多岐にわたるので様々な経験と達成感を得る事ができます。

やりがいのある仕事を通じて自己の成長を望む皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

警察組織を支える調整役として

犯罪鑑識官付　係長　平成11年入庁

犯罪鑑識官は、都道府県警察の鑑識課、科学捜査研究所に対して指導、支援を行う係のほか、指掌紋、足痕跡、被疑者写真、DNA 型の鑑定及び対照業務等の犯罪鑑識全般に関する業務を担当しています。

その中で私が在籍する庶務係は、国会対応、職員の勤務時間管理や給与、旅費の支給、各種保険等の加入請求手続のほか、庁内各課との連絡窓口としての役割を担っています。

業務は多岐にわたり、責任の重い業務もありますが、職員が安心して仕事に取り組めるよう、常にコミュニケーションを取り、官内全体の調整役として円滑な業務推進を心掛けています。

また、私は8歳と5歳の子の父親でもありますが、妻のほか、上司や同僚等職場からの支えをもらいながら、多忙な中でも育児に積極的に関わることができ、充実した毎日を過ごしています。

一見裏方に見える警察庁事務官の仕事ですが、警察組織を支える上でなくてはならないものであり、とてもやりがいのある仕事です。皆さんの力を警察組織の運営に生かしてみませんか?

一緒に働けることを楽しみにしています。

幹部を支える裏方として

企画課　係員　平成26年入庁

私は、長官官房審議官付秘書として、スケジュール管理、来客対応、決裁の受付等を行っています。

秘書は、上司が効率的に業務を行えるよう臨機応変な対応が求められるため、常に状況を把握し、一歩先の気配りを行うことが重要です。また、秘書の言動は上司のイメージにもつながるため、明るく丁寧な対応を心掛けています。

毎日の業務の中で見直しと改善を繰り返し、適切に対応できた時や幹部から労いの言葉を頂いた時には、多忙な幹部を支える裏方として大きなやりがいを感じます。

また、警察庁では全国の警察職員の方々とも仕事ができます。
豊富な経験を持ち、多数の苦難を乗り越えてきた上司や同僚との出会いは、仕事に対する姿勢や人としての在り方など多くを学ぶことができます。

警察庁事務官のフィールドには、秘書以外にも様々な業務があり、どれも警察組織の基盤を支えるために不可欠な仕事ばかりです。皆さんも警察組織の一員として、私たちと一緒に充実した日々を送ってみませんか。

警察庁長官官房会計課装備室長

経　歴

昭和59年　入庁

安全・安心を実感できる社会の実現を目指して

第一線で活躍する警察官が警察活動を迅速かつ的確に遂行するためには、各種警察事象に最も適した装備資機材等が必要になります。

現在、私が勤務する警察庁会計課装備室は、こうした警察装備品の中でも、警察活動の代表的な機動力であるパトカーや白バイ等の警察車両のほか、空からのパトロールや捜索等幅広い分野で活用しているヘリコプター、水上の安全確保や水難者の救助等で活躍している警察用船舶、事件・事故の発生現場で使用する各種装備資機材を全国の警察に配備する業務を行っています。そのほか、科学技術の進歩や社会情勢の変化に即応した警察装備の充実、発展を目的に、装備品の開発・改善を図っています。これは、複雑多様化する警察事象に的確に対処していくためには、警察活動の物的基盤である警察装備の果たす役割がますます重要となってきており、装備資機材の一層の開発、整備が従来にも増して必要とされているからです。

私は、これまでに、警察庁や管区警察局のほか、県の警察本部会計課においても勤務する機会に恵まれ、それぞれにおいて貴重な経験をたくさんしてきました。特に警察本部の勤務では、財政当局へ予算折衝を行い警察活動に必要な予算を獲得したり、現場のニーズに応じた装備資機材の整備や老朽化した警察署等の施設の建替えなどに従事し、より現場に近いところで治安維持の一端を担うことができたことは大きな財産となっています。

私たち警察庁事務官は、犯罪の未然防止、被疑者の検挙や災害救助など様々な第一線警察活動を支えるため、予算の確保、装備資機材の整備等の会計業務のほかにも多種多様な分野で活動しており、全国の警察職員とともに国民の安全・安心を守る、とてもやりがいのある、そして誇りを持てる職業です。また、様々な業務に携わることができるため、自身の才能や能力を発揮できる機会がとても多い職業でもあります。

皆さんも、日本の治安を守る一員として、一緒に安全・安心を実感できる社会の実現を目指してみませんか。

Q 入庁の決め手は?

保安課　係員　平成30年入庁

A　日本警察の中枢で、組織の基盤を支え、治安位置の一翼を担うことができるという警察庁事務官の仕事に対して、もちろん強い魅力を感じてはいましたが、入庁の一番の決め手は、官庁訪問の際に対応してくれた職員の方々がとても親切だったことです。「このような方々がいる職場で一緒に働いてみたい」という気持ちが沸いてきて、就職に対する不安な気持ちを一掃させてくれたので、警察庁への入庁を決心しました。

Q 職場の雰囲気は?

交通企画課　係員　平成31年入庁

A　入庁前は、「警察組織=堅苦しく厳しい」というイメージがありました。しかし実際に入庁してみると、上司や先輩方とは気軽に話すことができ、仕事の話だけでなくプライベートの話も親身になって聞いてもらえます。また、他課や他局の職員との関係も良く、仕事をしていて楽しいと思える職場です。

Q 今の仕事の内容と苦労している点は?

人事課　係員　平成30年入庁

A　私は現在、人事異動に関する資料作成や異動・昇格に伴う辞令交付に係る業務を担当しています。時にはスムーズに進まないこともありますが、上司や先輩方に相談しアドバイスをいただきながら、日々業務に取り組んでいます。警察庁の業務は多岐にわたるため、様々な経験ができることも魅力の一つだと思います。

Q 志望者へのメッセージ

警備企画課　係員　平成31年入庁

A　警察庁は、福利厚生も充実し、ワークライフバランスの制度も整っているため、私自身、明るい職場環境の中で、公私ともに充実した生活を送ることができています。

警察庁事務官の仕事は多岐にわたりますが、「警察組織の基盤を支える」ための縁の下の力持ちとして、使命感や誇りを持って働くことができます。また、年齢や立場の違う方々と関わりながら仕事をする中で、自らの視野を広げることができます。警察職員の一員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を、楽しみにしています。

NATIONAL POLICE AGENCY

職員の1日

組織犯罪対策企画課　係員
平成27年入庁

9:30 出勤

通勤時の電車内ではネットニュースを読むなど、警察業務に関連のある社会情勢の把握に努めます。職場に到着してからは、同僚と雑談をする中で気持ちを切り替え、仕事モードに入ります。

10:00 資料作成

金融機関等の特定事業者から寄せられる犯罪収益の疑いのある情報を取りまとめ、都道府県警察に提供するための資料を作成します。資料作成に当たっては、誰が読んでも間違った解釈がなされないよう、正確な記載を心掛けています。また、自分が作った資料ですので、記載されていることはすべて説明できるよう、理解が曖昧な部分はきちんと調べ、上司の決裁を受けます。

12:00 昼食

持参したお弁当を職場で食べます。上司や同僚と雑談をしながらの食事の時間は、執務時間中の緊張感を緩める良いリフレッシュタイムです。また、庁舎内外には食堂や弁当販売等もあり、上司や同僚と食事に行くこともあります。

14:00 都道府県警察とのやり取り

午前中に作成した資料を都道府県警察に送付し、併せて担当者に電話で資料の説明をします。都道府県警察の担当者も忙しいので、簡潔かつ分かりやすい説明を心掛けています。こうした日々のやり取りを通じて構築した良好な人間関係は、仕事をする上で大きな財産となっています。

18:30 退庁

業務は計画的に行い、執務時間内に処理できるように心掛けています。忙しい時期もありますので、残業をすることもありますが、この日は早めに帰宅することができました。執務時間内に仕事を終えた日は、職場の先輩方と近くの運動公園に走りに行くなど、仕事だけでなく、スポーツを通じて親睦を深めています。

休日の過ごし方

デスクワークの毎日ですので、休日はなるべく体を動かすように心掛けています。この日は天気も良かったので河川敷をランニング。オンとオフを切り替え、また月曜日からの一週間に備えます。

管区警察局とは

警察庁の地方機関であり、警察庁と管区警察局の管轄区域内にある各府県警察本部との重要なパイプ役、調整役を果たしており、各府県警察の要請と全国又はその地域一体の警察運営の調整を図るなどしています。

全国には、6つの管区警察局（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州）と1つの支局（四国）があり、管区警察局には附置機関として、管区警察学校があります。

東京都・北海道 警察情報通信部とは

東京都警察情報通信部及び北海道警察情報通信部は、情報通信部門の地方機関のうち、管区警察局の管轄に属さずに警察庁が直轄する組織として置かれています。

なお、東京都及び北海道以外には、管区警察局の出先機関として府県情報通信部が置かれています。

警察職員を目指す皆さんへ

東北管区警察局総務監察・広域調整部会計課
係長　平成14年入庁

私は現在、予算係として主に東北管内の人件費、都道府県警察費補助金及び警察施設等に関する予算の要求、配分、調整及び諸報告のとりまとめ等の業務を担当しています。デスクワーク中心ですが、新築や補修等で予算を必要とする警察施設へ行き、担当者から直接話を聞く機会もあり、第一線で活躍する警察官のため、ひいては国民のために日々努力を重ねている方々に刺激され、私も頑張ろうという気持ちになります。

皆さんの中には、警察のドラマや小説で「会計部門の人間」を取り上げたものを観たことがある方はそういないと思います。決して華やかな仕事ではありませんが、警察組織の基盤を支える上で、なくてはならないものの一つが会計業務です。

社会のため、国民のために役に立ちたいという強い思いがあれば、立場が違ってもやるべきこと、できることがたくさんあります。正義感溢れる皆さんとともに働くことができる日を心待ちにしています。

より良い組織基盤の構築のために

関東管区警察局情報通信部通信庶務課
主任　平成26年入庁

私は現在、経理係として主に支払業務等を担当しています。具体的には関東管区内の各県情報通信部から予算の支払いに必要な書類を取りまとめ、記載内容の確認を行う業務を担当しています。

各県から送付される請求書を定められた支払期限内に処理しなくてはならないため、事実誤認がないよう各県の経理担当者と関係部署との連絡・調整を密にし、また、手続きに誤りがないよう関係法令をチェックしながら業務を進めています。

私たち警察庁事務官のフィールドは、こうした会計業務のほか、人事管理や給与厚生事務等、警察組織の基盤を支えるために重要なものです。現場で悪と対峙する警察官と、デスクワークで活躍する事務官がお互いに機能してこそ、警察組織は成立し、より良くなっていくのだと思います。

職種は違えど、芯にある正義感に警察官も事務官も違いはありません。是非皆さんも、私たちと一緒により良い組織を創るため、その力を使ってみませんか。

これまでの勤務を振り返って

東京都警察情報通信部通信庶務課　係長　平成24年入庁

私は、東京都警察情報通信部の通信庶務課で警察通信用物品の管理や調達に携わっています。我が国の首都である東京都では要人来日に伴う警備が頻繁に実施されるため、こうした警備に伴って必要となる警察通信用物品の管理や調達を行うことも私の業務です。警備に当たる警察官が不自由なく最大限のパフォーマンスを発揮するためにはどのような物品をどのように活用することが最適なのか、常に現場をイメージしながら業務に当たっています。苦労する場面もありますが、警備が無事完遂されると、安堵感とともに自分の仕事が日本の治安維持に役立っているのだと強く実感します。

採用される前は、警察に対して堅苦しいイメージを勝手に持っていました。入庁9年目となり、これまでの勤務を振り返ってみると、非常に暖かい上司、同僚、後輩に支えられながら、「安全安心」という一つの目的に向かって充実した時間を過ごしてきたのだと実感しています。誰かのためにやりがいのある仕事をしたいという方、是非一緒に働きませんか。

現場執行力の強化のために

近畿管区警察局総務監察部警務課　主任　平成22年入庁
（現　近畿管区警察学校庶務部会計課　主任）

私は近畿管区警察局の警務課企画係において、警察官のための各種研修の計画から実施までの業務を担当しています。現在のポストで最も印象に残っている術科大会の企画・実施についてご紹介します。

術科大会とは、現場執行力の強化を目的として、1年に1回、近畿管内の柔道、剣道、逮捕術及びけん銃の代表選手が集まり、大会を通じてそれぞれが切磋琢磨をする大規模なイベントです。私の係は「企画」という言葉のとおり、大会計画の立案から始まり、必要となる資機材の調達、タイムテーブルの作成やスタッフの配置、当日の運営に至るまで術科大会全般に関する業務を担当しました。大会実施までに選手変更やプログラム入替えなど早急な対応が求められる場面もありましたが、各府県の代表選手が磨いた技を競い、事故なくイベントを終えることができたときの達成感は非常に大きく、携わった仲間達と感動を共有できました。

警察庁事務官の活躍の場は非常に多岐にわたっているので、皆さん一人一人が輝けるフィールドが必ずあります。是非皆さんも私たちと一緒に警察組織のために働いてみませんか。

被災地での経験

中国四国管区警察局情報通信部通信庶務課　係長　平成20年入庁

私は現在、中国四国管区警察局の情報通信部において、第一線の警察活動で必要不可欠な無線、映像、解析に必要な資機材の管理を担当しています。

これまで警察庁事務官として勤務してきた中で、特に印象に残っているものがあります。

東日本大震災への対応です。発生 1ヶ月後に被災物品の調査のため、宮城県へ派遣されました。各地では津波の惨状が残っており、使っていた職員の思いを感じながら、一つ一つ物品を確認していきました。とても辛い仕事でしたが、現地の職員が前を向いて進んでいる姿に、逆に私が奮い起こされ、調査を完遂することができました。

警察庁事務官の仕事は、「縁の下の力持ち」と言われますが、支える人がいるからこそ、警察組織がうまく機能し、治安の良い社会の実現を図ることができます。これが、我々の誇りです。

皆さんも治安への誇りを背負って一緒に働いてみませんか。

警察組織を支える仕事

九州管区警察局情報通信部通信庶務課　主任　平成28年入庁

私は現在、九州管区警察局の通信庶務課で採用や人事、給与に関する業務を担当しています。

業務を行うためには、法令に関する知識が必要となる場面が多いので、日々勉強し、疑問点を解消するよう心掛けています。また、採用に関する業務では、より多くの皆さんに業務の魅力を知ってもらうため、説明会を開催したり足繁く学校を訪問するなど、上司や同僚とともに地道な活動を続けています。

私が担当する業務は、職員の生活に直結する人事給与に関するものや、警察組織の将来を担う人材を確保する採用に関するものといった非常に重要な仕事ばかりで、難しさや責任を感じることもありますが、その分、警察組織の根幹を支えていることを強く実感でき、大きな達成感ややりがいを感じることができます。

警察庁事務官は、警察官のように第一線の現場で活動することはありません。
しかし、国民の安全安心を守る上で必要不可欠な存在です。皆さんも是非警察庁事務官として私たちと一緒に働いてみませんか。

警察組織の一員として

東北管区警察学校庶務部庶務課長　昭和55年入庁

私が現在勤務する東北管区警察学校は、仙台市に隣接する多賀城市にあり、東北6県の警察幹部の養成を行なっています。地域の安全安心を確保するため、即戦力としての活躍が期待される優秀な警察職員を育て、「『いざ』というときに頼りになる警察」の実現を目指しています。

このような重要な役割を持った当校において、私は庶務課長として、教育訓練機関としての機能を発揮させるとともに、それらを支える体制を保持するため、職員の人事管理・健康管理を始め、警察官に対し、所管業務に関する講義も行なっています。

また、庶務課では日常業務のほか、「他の係及び他課等の所掌に属さないこと」を担当しています。つまり、「この仕事は、どこで担当するのかわからない。」という仕事はすべて庶務課が担当するのです。当然、課員だけでは手に負えない場合も多く、私も課員とともに業務を行ないます。「住民に愛される優秀な警察官を育てる」一翼を担っているとの自負があるからこそ、そしてこうした自負を共有できる課員と一緒だからこそ、どのような業務に対してもポジティブに向き合うことができるのです。

いま、就職先で迷っている皆さん。日本のため、地域のため、そして大切な家族のためにも、是非警察庁で一緒に仕事をしてみませんか。

国民の安全・安心の確保に貢献する

中部管区警察局総務監察・広域調整部会計課長
昭和59年入庁

私は現在、中部管区警察局の会計課長として勤務しています。

中部管区警察局の会計課では、警察活動に必要な予算の管理や契約、支出に関する事務のほか、会計業務に関する警察庁や管区内の各県警察との調整、局内の各所属と各県警察への指導も行います。その中で私は会計課長として、日々、正確性や効率性に重点を置いて書類を確認するほか、課員が生き生きと仕事に取り組むことができるようワークライフバランスを推進して、風通しの良い職場環境づくりに努めています。

会計課の仕事は決して派手な仕事ではなく、データを集計したり報告書を作成したり、書類のチェックを行うなどの地味な業務が多くあります。しかし、こうした地味な業務の積み重ねが第一線の警察活動を支えており、国民の安全安心の確保につながっているということを意識して仕事をしています。

入庁以来、警察庁では会計、警備、生活安全部門で勤務してきましたが、ほかにも附属機関や地方機関で勤務する機会があり、その勤務先でなければ経験できない様々な仕事を担当しながら、たくさんの人達と知り合いました。こうした経験や出会いが現在の私を支える貴重な財産になっています。

機構図を見て頂ければ分かるとおり、警察庁には様々な所属があり、事務官の活躍の場もたくさんあります。皆さんも、その中に身を投じ「国民の安全安心の確保に貢献する」という他に代え難いやりがいを感じながら、一緒に仕事をしてみませんか。

四国警察支局警務・監察課
係員　平成30年入庁

Q　入庁の決め手は?

A　きっかけは、業務説明会に参加し、初めて警察庁事務官の説明を受けたときです。当時警察組織に詳しくなかった私は、警察官としての業務しかイメージできていませんでしたが、国家公務員としての警察職員の存在を知りました。日本の治安を守るという崇高な理念の下、警察庁事務官として日々の警察業務を支えるという業務に魅力を感じ、入庁したいと強く思いました。

Q　今の仕事の内容と苦労している点は?

A　私の所属する警務課総務係では、行政文書の管理に関する指導業務のほか、庶務関係業務や会計関係業務など、幅広い業務を取り扱っています。現在、私は、受領した行政文書の内容を確認し、上司に報告したり課内に供覧するなどしていますが、これから経験を積み、文書管理に関する指導等も行いたいと思っています。前年度まで経理業務という異なる業務を担当していたので、戸惑うことも多々ありますが、上司を含めた周囲の職員方に丁寧に指導していただけるため、積極的に業務に取り組むことができています。

宮崎県情報通信部通信庶務課
係員　平成30年入庁

Q　職場の雰囲気は?

A　入庁前、警察組織に対しては「堅い」というイメージがありましたが、入庁してみるとその考えは間違いであることが分かりました。私の周りで働いている上司・先輩の皆さんは優しく親切な方ばかりで、仕事で分からないことを尋ねると丁寧に教えてくれます。そのような上司・先輩を見ていると、いつか自分もああなりたいと感じます。また、趣味のことやたわいもないことを話してくれるので、真剣に業務と向き合う時間の中にも楽しいシーンがあり、毎日とても気持ちよく勤務できています。

Q　志望者へのメッセージ

A　警察庁事務官は、社会の治安維持を担う警察組織の基盤を支えるというやりがいがある業務に携わることができる上、福利厚生も整っており公私ともに充実した毎日を送ることができる職場で働いています。社会の役に立ちたいという気持ちはあるけど、具体的に自分のやりたいことが見つからないという方、是非、警察庁の業務説明会や官庁訪問に参加してみてください。皆さんと一緒にこのやりがいがある仕事ができることを楽しみにしています。

NATIONAL POLICE AGENCY

職員の1日

北海道警察情報通信部通信庶務課
主任　平成28年入庁

8:00 出勤

通常は8時45分が始業時刻ですが、今日は早出勤務制度を利用して8時までに出勤します。時間が早いせいかいつもより電車が空いていて快適です。職場に着いたらメールチェックや今日1日の予定を確認し、業務の優先順位を付けて準備をします。

9:00 各種業務

現在は職員の給与支給、諸手当の認定や勤務時間管理等の業務を行っています。今日は人事異動で他所属から転入してきた職員に提出してもらった扶養手当・住居手当・通勤手当・単身赴任手当の届出書類の内容を確認します。通信庶務課は職員数が多いので、誤支給等のないよう一人一人丁寧に書類をチェックしていきます。

一通り届出書類の確認が終わったので上司の決裁を受けます。給与業務は職員やその家族の生活に直接関わるものですので、慎重かつ正確な事務処理が求められます。まだまだ学ぶべき点が多く、分からないことや判断に迷う時も多々ありますが、適宜上司に相談し適切なアドバイスをいただいたり、自分自身も常に知識の習得に努めています。

14:00 決裁

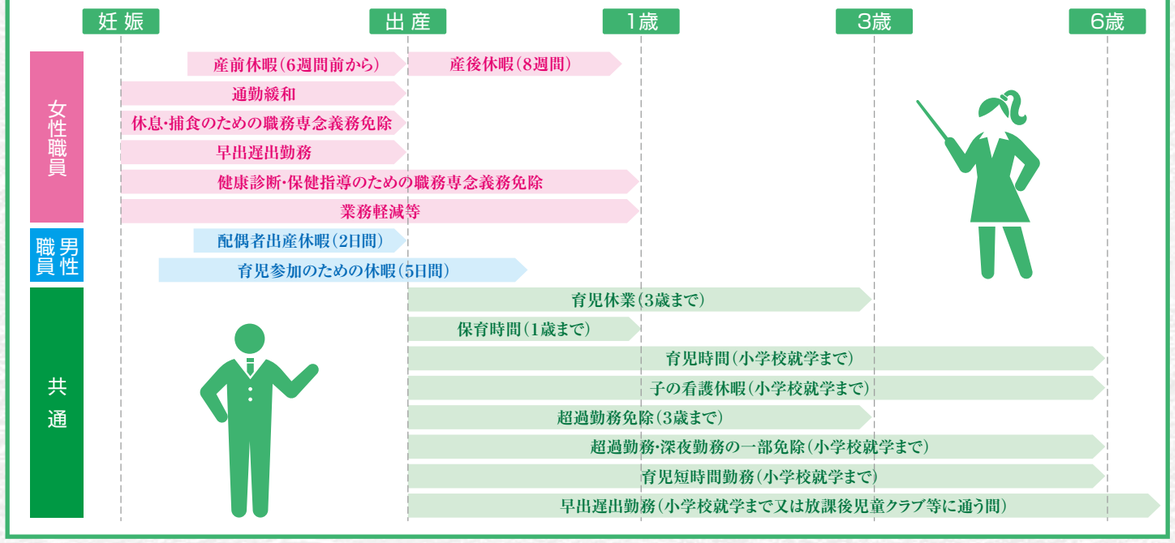
16:45 退庁

予定どおり業務が終わったので早出勤務の定時16時45分に退庁です。
仕事終わりに同期や友人と会ってリフレッシュすることもありますが、今日は買い物をして家で夕飯を作ります。忙しい時期はなかなか難しいですが、時間に余裕のある時期はなるべく自炊をして健康管理に気を付けています。

休日の過ごし方

休日は外に出かけることもあれば家で過ごすこともあり様々です。写真は休日に道東の十勝地方へ観光に行った時のものです。
計画的に業務を進めることができれば年次休暇も希望どおりに取得できますし、夏期休暇等もしっかり取れる職場なので休暇を利用して国内旅行や海外旅行に行くこともあります。楽しみな予定があると仕事もより一層頑張ることができるので、プライベートの時間も大切にしています。

仕事と育児の両立のための支援制度



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制度等、ワークライフバランスを推進する制度があります。

男性職員から

東京都警察情報通信部通信庶務課　係長　平成18年入庁

現在私は、東京都警察情報通信部の人事給与係長として部内の人事と給与に関する事務を担当しています。

結婚当時から妻は働いていたので、妻の妊娠がわかったとき、自分の子供が生まれるという喜びとともに、「共働きを続けながら十分な育児ができるのか」といった不安を感じました。男性の育児参加について職場で調べてみると、様々な制度は整っているのですが、その制度を十分に活用することができるのだろうか、また、私が育児参加を積極的に行うことで職場に迷惑がかからないだろうか、など湧いてくるのは不安な感情ばかりでした。

しかし上司に相談したところ、こうした不安はすぐに解消されました。職場全体で育児を応援してもらうことができ、出産前後には十分な休暇を取得できただけでなく、1か月程度の育児休業を取得し、長女との充実した時間を過ごすことができました。そのサポートは出産前後だけにとどまらず、現在は勤務開始時間を1時間遅らせることで長女を保育所へ送り届けてから出勤しており、妻と二人三脚で充実した育児生活を送っています。

タイムスケジュール

- 6:00 起床
- 6:45 長女の起床
- 8:00 保育所へ送迎
- 9:30 勤務開始
- 18:45 勤務終了
- 20:00 帰宅
- 21:00 長女の寝かしつけ
- 23:00 就寝

このように、警察庁は男性の育児参加に関する制度が整備されているだけでなく、その制度を活用することをサポートしてくれる「人」がいます。男性の皆さんも是非、国民の安全安心を守るという警察の責務を果たしながら、豊かな人生を一緒に歩んでみませんか。

女性職員から

総務課　係員　平成24年入庁

現在私は総務課庶務係で、課員の勤務時間管理に関する業務を担当しています。

このパンフレットを手にしている方の中には、「仕事と育児の両立」と聞いても、どのような生活スタイルになるのか想像がつかない方も多いと思います。出産前の私もそうでした。

私は出産後、子どもが3歳になるまで育児休業を取得しました。出産や育児は、両親や夫の助けがありながらも思いのほかとても大きな負担が掛かります。私の場合、育児をしながらの生活リズムに慣れるまでが非常に大変だったので、約3年間という育児休業を取得できたこと、そして職場からの理解を得られたことは非常に大きな支えになりました。「警察」と聞くと、「縦社会」などといったイメージが先行しがちですが、私は「人」を大切にしてくれる組織だと実感しています。

現在は仕事や育児に追われ、あっという間に時間が過ぎてしまいますが、そんな中でも、お迎えに行ったときの嬉しそうな子どもの声、寝る前に絵本を読んでいるときに見せる笑顔、子どもと過ごす時間が復職前よりも貴重に、そして仕事への原動力に変わってきたと思います。

警察庁には、仕事と育児を両立させるための充実した制度、そして経験豊富な先輩女性職員、さらに「人」を大切にしてくれる組織風土があります。国民の安全安心を守るというやりがい溢れる業務を、女性の皆さんもきっと生涯続けていくことができると思います。是非、警察庁の門を叩いてみてください。

タイムスケジュール

- 5:30 起床（朝食準備、自分の身支度）
- 6:30 子ども起床（一緒に朝食）
- 7:40 夫出勤（保育園経由）
- 7:45 出勤
- 8:40 登庁
- 17:00 退庁
- 18:00 保育園へお迎え
- 18:15 帰宅
- 19:00 夕食、お風呂、子どもとの自由時間
- 21:00 寝かしつけ
- 22:00 家事、翌日の登園準備
- 23:00 就寝

勤務地等についてのQ&A

Q 勤務地について教えてください。

A ［警察庁本庁採用者］
警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。

［各管区警察局等採用者］
管区警察局又は警察支局で採用された場合はそれぞれの本局及びその管轄区域内の府県で、東京都警察情報通信部又は北海道警察情報通信部で採用された場合はそれぞれの採用地での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合もあります。

Q 研修制度について教えてください。

A 業務の「戦力」としての活躍が期待されているため、採用直後に新任研修を受けるほか、昇任の都度、必要な研修を受けるなど、系統的に能力の向上が図られています。また、情報通信部門等の各分野において必要な研修、教養を受ける機会も用意されています。

Q 休暇制度はどのようなものですか?

A 年間20日間（採用年は15日間）の年次休暇のほか、3日間の夏季休暇があります。結婚休暇等の制度もあり、いずれも有給休暇となっています。

Q 仕事と子育てを両立するための制度にはどのようなものがありますか?

A 育児休業のほか、産前休暇・産後休暇、配偶者出産休暇、育児参加のための休暇、育児短時間勤務、早出遅出勤務、子の看護休暇等の制度が整っています。

Q 福利厚生はどうなっていますか?

A 共済組合制度があり、各種保険、短・長期給付事業等、職員が安心して快適に職務に専念できるよう福利厚生の充実を図っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。